

議 長  
確認印

経済常任委員会会議録

1 日 時	開会 令和4年10月28日 8:00 閉会 令和4年10月28日 17:00
2 場 所	バス車中及び現地 (①道の駅ふくしま ②林業アカデミーふくしま)
3 出席委員	七宮広樹、鈴木元久、鈴木 茂、吉田広明、金澤太郎、割貝寿一
4 欠席委員	なし
5 出席要求者 (説明員)	農林推進課長補佐兼林政係長
6 職務出席者	議会事務局長、書記
7 付議事件	第1 林業アカデミーふくしま事業及び地域振興・活性化施設の運営状況について
8 議事の経過 (バス車中にて)	<p>鈴木元久副委員長開会 七宮広樹委員長あいさつ 第1 林業アカデミーふくしま事業及び地域振興・活性化施設の運営状況について 委員長：説明を求める。 (農林推進課長補佐兼林政係長が資料に基づき説明) 委員長：質疑あるか。 割貝委員：道の駅はなわは開業して何年か。法人化したのは何年。 農林推進課長補佐：建設は平成13年度から14年度にかけて行われた。オープンは平成15年4月20日。管理運営主体は、株式会社埴町振興公社へ平成15年から平成25年12月まで管理委託していた。一般財団法人になったのは、平成26年1月から指定管理として委託している。 鈴木茂委員：林業アカデミーだが、埴の実習林の使い方はお任せしているのか。 農林推進課長補佐：県では、実習林のカリキュラムに関しては緑化機構に委託している。実習内容は、委託先が間伐などの内容を決めている。よって、県にお任せしている。 鈴木茂委員：他県では水害が起きるほどのひどい間伐をされた事例もあるので、ある程度の監視・調整はしていただきたい。 農林推進課長補佐：架線集材の運転の習得のためなので、現在は1本くらいしか切らない状況。 吉田広明委員：アカデミーから埴の実習林での実習は、常時日帰りなのか宿泊を伴うのか。 農林推進課長補佐：町としては、湯遊ランドにぜひ宿泊してほしいと思いPR等を展開してきたが、昨年度は短期研修であったが、実習で実際に宿泊した方は講師の方と生徒1名のみであった。今年度は年間を通しての実習生が来るので、20名が宿泊するものと思っている。今後とも、湯遊ランドに宿泊していただけるよう働きかけを行っていく。 吉田広明委員：宿泊料金等も含めて協議した方がよいのでは。 委員長：アカデミー割みたいなものか。 農林推進課長補佐：宿泊料金については、まち振興課との折衝になると思うが検討していく。</p>

副委員長：アカデミーの募集の状況は。

農林推進課長補佐：実施主体は県である。昨年度は定員 15 名申込みあったが、1 名が途中でやめてしまった。実習生には埴町の方が 1 名いる。関東圏から 3~4 名が来ていると聞いている。2023 年度・二期生についてはまだ情報が入ってきていないが、町の方でも何らかのお手伝いをしていきたいと考えている。

副委員長：受講手数料は高卒程度の方が納める額か。年間の給付金制度を使ってやっているのか。

農林推進課長補佐：給付金制度をどの程度の方が利用しているかは把握していない。

委員長：道の駅はなわの名簿会員 257 名ということだが推移は。空調設備工事の状況は。

農林推進課長補佐：昨年度の経済常任委員会で名簿会員 270 名と説明したところであるが、減った推移は分からない。空調設備工事については、入札が終わり現在工事中である。詳細は資料を持ち合わせていないため回答いたしかねる。

委員長：林業アカデミー関係だが、看板設置はされたのか。誘致活動をした委員会は今後どのような動きをしていくのか。

農林推進課長補佐：看板は先月設置が完了した。分岐点の佐藤商店と入口の箇所に。委員会については、現在検討しているところである。

委員長：質疑を終了する。まとめは、帰町後に行う。

(その後、現地視察 ①道の駅ふくしま 10:30~ ②林業アカデミーふくしま 14:00~)

(行政視察終了し帰町後、役場西側玄関前にて)

委員長：報告書の期限は 11/11 とする。12 月定例会で委員の意見をまとめ報告する。

副委員長閉会

埴町議会委員会条例第 27 条の規定により署名する。

令和 年 月 日

経済常任委員長